

平成30年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（冬季）入学試験

入学試験問題

⑦ 社会学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

【問題 1】 下記の a)～f)から 1 つを選択し、選んだ記号を示した上で解答しなさい。

(配点 100 点)

- a) 「貧困」とは何か。「絶対的貧困」、「相対的貧困」、「社会的排除」、「格差」をキーワードとして論じなさい。
- b) 社会ネットワークを介した情報伝達に関して、そこで生み出される情報の価値と、社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）の形態との理論的関係を論じなさい。
- c) 「疎外」の概念について解説した上で、現代社会における事例を取り上げ、論じなさい。
- d) 階層研究において統計学の発展がもたらした理論的枠組みの展開を、主要な具体的研究に言及して論じなさい。
- e) ジュディス・バトラーの『ジェンダー・トラブル』を解説したうえで、この議論のフェミニズムやジェンダー研究における意義を論じなさい。
- f) いわゆる「ネトウヨ」について、以下の 2 つの見方を検討した上で、世論との関係をあなた自身はどう考えるか、論じなさい。
- (1) 「ネトウヨ」は、ネットの利用が人々の考え方に影響を及ぼし「右傾化」が進んだ状況の中で出てきた現象である。
 - (2) 「ネトウヨ」は、これまで情報発信手段を持たなかった少数派が、ネットによって情報発信可能となり、目立っているに過ぎない現象である。

【問題 2】 下記の 12 の語句群の中から 5 つ選んで説明しなさい。選んだ語句をそれぞれ示した上で解答すること。(配点各 20 点)

合理的選択理論	従属理論
鉄の檻 (M. ウェーバー)	エディプス・コンプレックス
予言の自己成就	かくれたカリキュラム
有機的知識人	ワークフェア
コーホート	分散分析
文化指標研究	大衆文化、サブカルチャー、ポピュラー・カルチャー